



発行者 等々力地区身近なまちづくり推進協議会 広報部
事務局 等々力まちづくりセンター TEL. 03-3702-2143 FAX. 03-3702-0942

2019 元旦 あけましておめでとうございます
「玉の清流」編集委員一同

平成三十一年 己亥の年

おめでとうございます。平成最後の年が明けました。今年の干支は組合せの36番目で、昨年は戌(いぬ)で、来年は亥(いのち)になります。前回(60年前)の己亥は昭和34年でしたが、この年はどんな年だったでしょうか？

等が創刊されました。このようなマスコミの発達により、スポーツ等の世界も一層活発になりました。大相撲は栃若時代で賑わい、プロ野球では王貞治選手が後楽園でプロ入り初ホームランを放ち、長嶋茂雄選手が天覧試合でサヨナラホームランを放つなど華やかな記録を残しました。



「目黒通り」今むかし

乗合自動車が発走した頃
目黒と等々力のあいだには明治期から馬車による交通が行われ、大正時代からは乗合自動車が行き交った。大正末に発行された「東京近郊電車案内」には目黒駅前〜等々力間乗合自動車の営業概要が掲載されています。

今日、正式名称の「都道312号白金台町等々力線」よりも「目黒通り」として知られるおなじみの道も、時代とともに少しずつ変化しています。

午前7時から午後11時まで、3分おきに5分ごとに発車。料金は目黒駅前〜等々力が60銭。往復券なら約2割安くなり、目黒駅前〜清水間に特別回数券を発売して

道が「二子街道」と表示されています。墓地内には、元禄時代の儒学者である細井広沢の墓所があります。広沢は忠臣蔵で知られる堀部安兵衛らと親交があり、討ち入り口上書の添削をしたともいわれる人物です。当時、目黒通りは二子街道として満願寺の南を弧をゆ



目黒通り(等々力陸橋北詰 玉川神社前) 下り線より旧道方面を望む(右手に満願寺)

いて5割引など、頻繁な運行とともに各種サービスが行われていたことが分かります。当時、郵便はがきが1銭5厘だったことを考えるとそれなりの金額でした。さらに驚かされるのは所要時間で、当時の運行ダイヤで

この等々力・尾山台・玉堤にも古より伝わる史蹟や歳時があり、新年の神社仏閣への初詣、どんど焼き、御嶽講詣で、節分、雛祭り、花祭りに七夕、お盆、夏祭り、秋祭り、新嘗祭、農振会や西の市など盛りだくさんの催しがあります。ミニコミ紙「玉の清流」が少しでも身近な情報誌として皆さまの暮らしに役立つよう心がけていきます。

高齢者クラブ「玉寿会」60周年

玉寿会は昨年60周年を迎えることができました。これも会員は勿論、地域の方々のご支援のおかげと感謝しております。

60年前、小池駒次様、阿部龍文様、上田金蔵様により設立され、現在は等々力地区会館を主な活動拠点として活動しています。120余名の会員で、フラダンス、大正琴、書道、カラオケなど13の部会があり、通常の活動のほか年4回のお誕生会、ボランティアなどを行っています。



奉納演芸会を開催することができました。演芸会では、設立者の方々への感謝と玉寿会のこれからの発展を願って、歌や踊りを披露しました。

この度、設立60周年を迎え、玉川神社並びに関係者の皆様のご厚意により、玉川神社例大祭の9月15日に奉納演芸会を開催することができました。演芸会では、設立者の方々への感謝と玉寿会のこれからの発展を願って、歌や踊りを披露しました。

「これからの行事」
◆普通救命講習会 2月16日(土) 玉川消防署
◆さざ草栽培講習会 2月19日(火) 尾山台地区会館
◆古着・古布の回収 2月23日(土) 尾山台中学校 等々力小学校

◆等々力の歴史を語り継ぐ会展示会 3月上旬予定 玉川総合支所等々力庁舎
編集後記
「玉の清流」の創刊が1989年(昭和58年)1月です。この145号で足かけ37年のあゆみとなります。